

# 三芳町学校再編ニュースレター

〔 vol. 02 〕

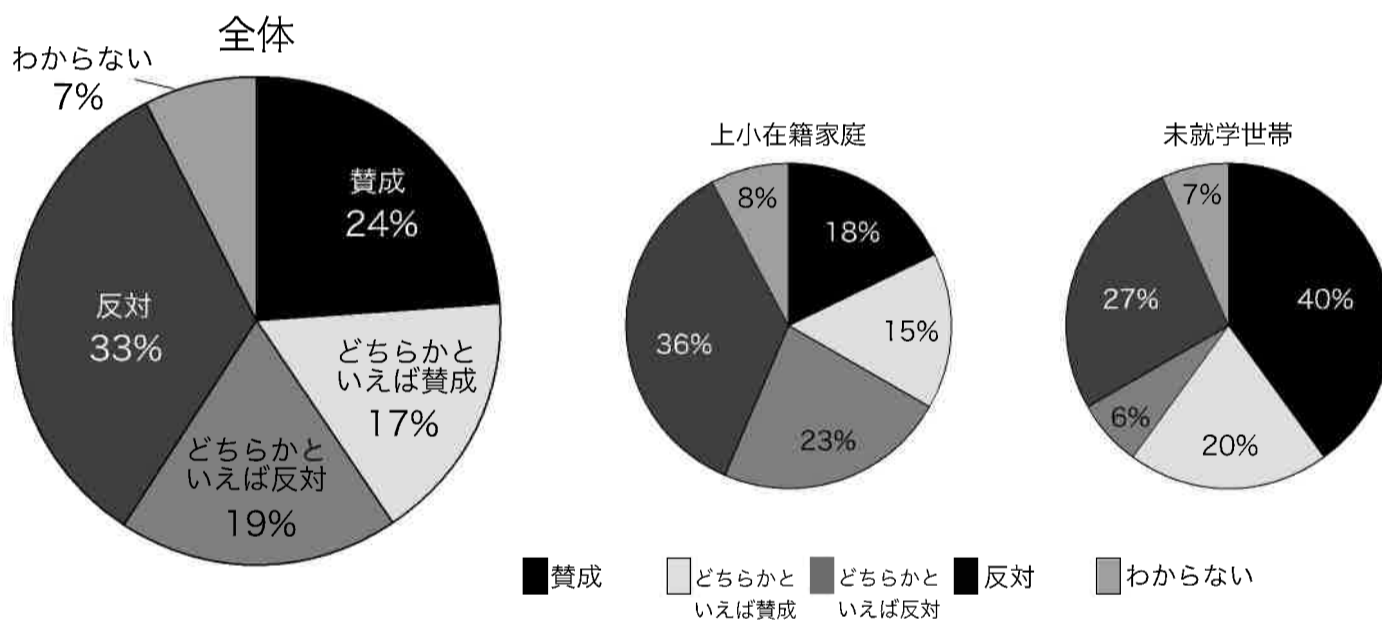
町立小中学校の再編の検討内容をお知らせします！

+++

## 上富小学校の再編（統廃合）に係る意識調査へのご協力 ありがとうございました

令和6年2月28日～3月12日、上富小学校在学中のお子さまがいる家庭及び上富小学校に通う可能性のある家庭（上富小学校区未就学児世帯）を対象に、上富小学校の再編に係る意識調査を実施しました。回答にご協力をいただいたご家庭におかれましては、誠にありがとうございました。

結果については、下記のとおりです。【全体回答率：51%】



### 寄せられたご意見

😊 賛成/どちらかといえば賛成と回答した人のご意見    😞 反対/どちらかといえば反対と回答した人のご意見    😐 わからないと回答した人のご意見



#### 通学

- 😊 通学の安全の確保（道路の改善と通学バスの整備）をしてほしいから
- 😞 自宅から学校までの通学距離が長くなり、歩いて行かせるのは心配
  - 悪天候時、災害時、不審者など登下校の安全面が心配
  - 毎日の登校が大変になってしまうだけでなく、交通事故等の危険も高まってしまうため
  - スクールバスでも帰りの時間が読めないため



#### 教育効果

- 😊 複数の先生に見てもらえるなど、教員数の充実が図られるため
- 運動会・音楽会・遠足・修学旅行、クラブ活動等の集団活動・行事の教育効果を鑑みて
- 児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じるため
- 社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- 班活動やグループ分けに制約が生じるため
- 多様な人々にもまれながら生活していく方が、広い社会に出て生きていく力がつくと思うため



**( 続 ) 教育効果**

-  学校は、勉強だけでなく“多様な考え方に触れるとともに新たな人間関係を築く”場所であるため  
単学級、少人数学級が持つ課題（コミュニケーション能力・競争による成長などへの課題）の方が大きいと考えるため  
学年が上がるにつれ、クラス、児童内での役割分担が生じ、多様性や新たな価値観の創造を阻害しているため
-  少人数での細やかな指導、先生達からの手厚い指導や目が行き届いているため  
地元の人達とのつながりや郷土の勉強が薄くなるため  
行事や畑を体験できる環境が必要なため  
少人数でも色々な考え方に触れる機会はあるため  
大人数が苦手な子どものため  
不登校が増えると考えするため


**教員**

-  慣れない学年を持つ担任の先生が、横を確認できずに大変そうのため
-  生徒が増えることで教師の負担が増え、少人数の方が心にゆとりが生まれると考えため



**環境**

-  他の小学校よりも設備を縮小するという考えであれば、できる限り良い環境で学ばせたいと考えているため  
休み時間にサッカーなどの人数が集まらないとできない遊びがしづらいため
-  耐震工事やトイレの改修、体育館の照明を変えたり遊具を新しくした意味が分からないため  
子供が安心して遊べる場所がなくなるため  
ゆったりとした環境の中で過ごさせてあげたいため  
地域住民の交流の場、災害時の避難場所にもなる場所であるため



**避難所**

-  地域住民の交流の場、災害時の避難場所にもなる場所であるため




**人間関係**

-  同性のクラスメイトが少ない学年において、明らかに子ども達の人間関係が乏しいものになっているため  
人間関係が思うようにいかない時に、逃げ道が少なくなるため  
友人関係が固定され、知らない子と仲良くなったり、仲がよくない子とちょうどよい距離感をとって付き合ったりする経験ができないため  
少人数過ぎ、子どもの人数が増える見込みが無いのであれば、統合した方が良いと考えるため  
中学進学時に初めてクラス替えを経験し、社交性の乏しい児童は孤立しがちなため  
子ども達の交友関係や成長に不安があるため  
6年間ずっと一緒と考えると、子ども同士の相性などが心配なため
-  いじめっ子の人数が増えることが不安なため  
仲間（子供達の縦割りでの関係）や先生との関わりを深く持てるため  
全員の顔が分かる状況が素晴らしいと考えるため

**財政**

-  「少人数の学校」の運営に、莫大な税金を将来にわたってかけ続けるべきではないと考えるため  
1校に資金を集中した方が、残る学校に予算をかけて、校舎を改修したりできるため
-  使える財産を確保出来ているなら、無理に統合しなくてもいいと思うため

**その他**

-  ・言葉の教室など聴覚士や心理士が学校で直接サービスを提供できるような取り組みを希望するため
-  ・卒業まで同じ学校であってほしいため  
・母校が好きで、なくなってしまうのは悲しいため  
・学童保育室が遠くなり、子どもの寝る時間が遅くなってしまいうため
-  ・生徒数が少ないのは、良いところも悪いところもあるので、賛成反対どちらも選べないため  
・今後、三芳小の児童も人数が減っていくことを考えるとやむを得ないと思うため

三芳町学校再編等審議会では、いただいたアンケートを参考にしながら、町及び教育委員会の諮問内容について検討を進めていきます。検討内容の詳細は、町のホームページ「学校再編」からご覧ください。

学校再編等審議会 これまでの協議内容等の整理

観点	答申記載事項（案・たたき台）	備考／参考資料や実績等
1 前提	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響により、1校・1学年当たりのクラス数が減少していく《人口の減少と少子化》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数及び学級数（参考資料集 P.13～22）</li> <li>・審議会第4回資料 等</li> </ul>
2 教育効果	<p>下記●に示す事項により、「三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針」に示す規模を保てるよう、再編を進める必要がある。</p> <p>●<b>集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが必要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な考えに触れ、自己の考えを深める学習過程は、一部の発言力の強い児童、学習ができる子に引っ張られてしまうことを防ぎ、話し合い活動、グループ活動、共同作業が可能となる</li> <li>・自分の意見をもちみんなの前で発表する、人の意見を聞き意図を理解しようとする、折り合いをつけ最適解を探し出す、協力して活動する喜びを味わえる</li> <li>・互いを高め合う機会が得られる</li> <li>・児童が欠席等の場合でも他の児童がフォローできる</li> </ul> <p>●<b>豊かな教育活動を展開し、「主体的、対話的で深い学び」を実現する環境づくりを進めることが必要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育、音楽、総合、学校行事などでダイナミックな集団活動を経験できる</li> <li>・多様なクラブ、委員会活動の実施ができる （例：上富小／6委員会・4クラブ 三芳小／8委員会・11クラブ）</li> <li>・教科担任制による専門的指導が受けられる</li> <li>・多面的に児童を評価できる</li> </ul> <p>●<b>多様な人間関係を育み、社会性や協調性を育む環境づくりを進めることが必要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の固定化を防ぐ学級編成が可能となる</li> <li>・人間関係を構築、深化を図る機会ができる</li> <li>・固定化された人間関係の中で生まれるいじめについて、クラス替えで解消することが可能となる</li> <li>・男女比の不均衡を軽減できる</li> <li>・クラス替えを契機として新たな意欲付けを図ることができる</li> <li>・活気ある集団を作ることができる</li> <li>・なんでも先生を頼るのではなく、自主性、自律性の伸長を図ることができる</li> <li>・いろいろな人間を見ることで、自分と友達の長所・短所に気付き、それを踏まえた上での人との関わり方を学ぶことができる</li> <li>・教師と児童の心理的な距離が近くなりすぎるのを防ぐことができる</li> <li>・生徒指導上、発達上課題がある児童の問題行動にクラス全体が影響されるのを防ぐことができる</li> <li>・学級を分けることできめ細かな対応ができる</li> <li>・助け合い、認め合う心の育成を図ることが出来る</li> <li>・役割や負担を均等化することができる（特に高学年）</li> <li>・中学に入って大人数の中で少数派として寂しい思いをするより、同じ中学に行くのなら早い内から同じ集団で生活させるメリットがある</li> </ul> <p>●<b>教職員の確保、指導力向上と負担軽減による働き方改革を進める環境づくりを進めることが必要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの教職員による充実した教育活動を展開できる</li> <li>・学校が直面する様々な課題に組織的に対応できる</li> <li>・教材研究、授業準備、学年学級経営について協働で進められ、深化・充実を図ることができる</li> <li>・経験年数や専門性等、バランスの取れた教職員集団の形成と、それを活かした指導の充実を図ることが出来る</li> <li>・教員個人の力量に依存したり人事異動で学校運営に支障が出たりすることを防ぐことができる</li> <li>・校内研修の充実による資質向上を図ることができる</li> <li>・校外での研修、研究協議会に参加しやすい</li> <li>・少人数指導、TT、教科担任制、専科指導などの多様な指導体制を取ることができる</li> <li>・多面的に児童を評価できる</li> <li>・業務分担による負担軽減を図ることができる（働き方改革）</li> <li>・教員が欠席や欠けた場合のフォローが比較的容易にできる</li> </ul> <p>以下の◆に示す事項については、再編を進めるうえでの懸念点。町及び教育委員会において、対策を講じて進めていく必要がある。</p> <p>◆<b>きめ細かな指導、個に応じた指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の体制が望ましいと考える保護者等も多かった</li> <li>・教員増による習熟度別指導などの個に応じた指導、教科担任制の実施を検討すべき</li> <li>・一人一人を大切にする学級経営、教員の教育相談・カウンセリング技能の向上及び生徒指導、教育相談体制の充実を図っていくことが望まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会答申（参考資料集 P.38～52）</li> <li>・三芳町小中学校適正規模適正配置基本方針（参考資料集 P.36～37、53～54）</li> </ul>

		<p>◆郷土学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続できるものについては、継続していくことが望まれる</li> <li>・</li> </ul>	
3	施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本審議会では財政に係る部分は答申事項としない</li> </ul> <p>◆環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の学校施設については、より充実した環境整備に努めるべき</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正規模適正配置検討委員会第4回資料</li> <li>・審議会第3・4回資料及び同第4回参考資料1,2</li> </ul>
4	通学	<p>◆スクールバス等の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局より、スクールバス等の通学手段の確保については、取り組むべきものとして示された</li> <li>・保護者等の懸念が最も大きい部分</li> <li>・審議会においても、基本方針に示される距離では、特に小学校低学年の負担が大きいという意見が多かった</li> <li>・基本方針に示された距離だけでなく、統合校の状況をさらに研究し、「児童生徒の安全面を第一に、心身の過度な負担とならないことを考慮し」た通学方法について検討を進めていくことが望まれる</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会第4回資料及び同参考資料1,2</li> </ul>
5	ケアとコミュニティ	<p>◆児童の不安や悩みへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合予定校と交流を進めるなど、児童の戸惑いがないような取り組みについて、統合前から実施するべき</li> <li>・</li> </ul>	
6	意見聴取	(参考資料として、アンケートの実施内容と結果を掲載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会第6回資料</li> </ul>
7	その他	<p>◆跡地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のための活用、防災拠点としての位置づけについても、しっかり検討を</li> <li>・</li> </ul> <p>◆学童への通室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局より、キャパシティについては問題ないと示された</li> <li>・長期休業中も安心安全に通室できるような取り組みが必要</li> <li>・</li> </ul> <p>◆保護者の利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、学校行事へ参加する際の上富学区保護者の自動車利用を認めるべき</li> <li>・</li> </ul> <p>◆住民説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機会をしっかりと設け、十分な住民説明を行うべき</li> </ul>	
8	時期と方向性	<p>【上富小学校】</p> <p>【竹間沢小学校】</p> <p>【町立3中学校】</p>	

## 学校規模による課題とは？

標準的な規模校、小規模校それぞれに課題と良い部分があります。下記に、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（文部科学省）」より要約・抜粋したものを記載します。



全文はこちら

### 小規模校の課題

- ・学び合いや多様な物の見方・考え方に触れる機会が少なく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- ・児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- ・切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい
- ・多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい
- ・教員個人の力量への依存度が高まり、教員の負担も大きい

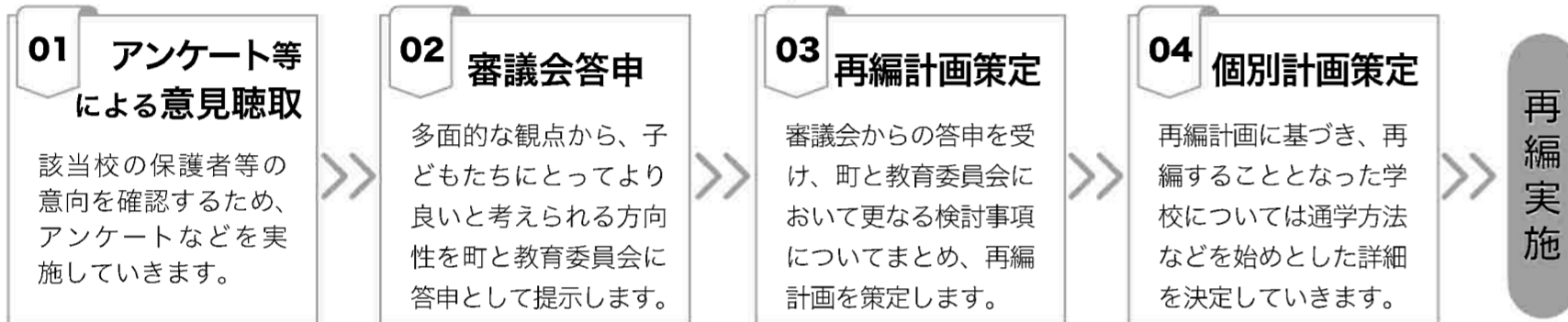
### 小規模校のよさ

- ・教師の目が行き届きやすく、一人一人にきめ細かな指導が行いやすい
- ・意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ・一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ・運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ・地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい

## 今後のスケジュールは？

現時点での想定は、下記の通りです。

03以下は再編となった場合の流れ。説明会などを開催していく。



再編計画策定後、再編の完了までにおよそ3年程度が必要と見込まれる。

## GAKKOSAIHEN FAQ

### 子どもは増えないの？

三芳町も全国的な人口減少の流れと同様の流れとなっていくと推測されます。一部、新たなマンションなどの住宅建設もあるようですが、これまでの同様の開発による影響から勘案すると、クラス数が増加するほどの影響はないと考えられます。

### 通学が遠くなってしまうと、通学が心配…

再編により、基本方針の適正配置の項目にある距離を超えて通学することになる児童生徒に対しては、スクールバスなどの安全や心身の負担に配慮した通学手段を導入します。導入後の詳細は、個別計画策定段階で決定していくことになります。

### 再編が決まった場合の子どもの心のケアは？

再編が決まり次第、直ちに対策を講じます。再編する学校同士の交流を増やすことや学校が変わることに不安を感じる子どもの相談の場を設けるなど、適時適切な対応を図ります。

### 学校の跡地はどうなるの？

学校再編によって使わなくなる校舎・校庭が発生すると決定した後、その利活用について、学校が地域で果たしている役割と併せながらどのように活用していくかを検討していくことになると考えられます。

## アンケートの実施について

三芳町学校再編等審議会では、町と教育委員会への答申を作成するにあたり、学校再編についての意向調査を、直接の影響を受ける学校に通うもしくは通う予定のある子どもの保護者の方を対象に、下記の通り実施します。

対象：竹間沢小学校に通うもしくは通う予定のある子どもの保護者（1世帯あたり1回）

実施期間：令和6年●月●日（●）～●月●日（●）【2週間】

回答方法：町のアンケートシステムを利用して回答（別途、回答用URLを学校を通じて送付するほか、未就学児のみの世帯には郵送にて送付します）

ご意見を募集します

## 学校再編等 審議会通信

三芳町の学校のあり方を考える

# 三芳町学校再編ニュースレター

町立小中学校の再編の検討内容をお知らせします！

【 vol. 01 - 2 】

## 学校再編等審議会ってなに？

昨今の人口減少、少子化をはじめとした社会情勢を踏まえ、今後もよりよい教育を実現していくため、三芳町教育委員会では、三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会への諮問答申を経て、令和5年2月に「三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針」を定めました。この基本方針に則りつつ、今後の子どもたちを取り巻く社会情勢等を鑑みながら、将来を担う子どもたちによりよい教育環境を整備し、充実した学校教育の実現を図るため「学校再編計画」を策定していくこととしています。

この計画の策定にあたり、有識者、保護者や地域の代表などで「学校再編等審議会」を開催し、町及び教育委員会からの諮問を受け、三芳町の学校再編がどうあるべきかについて、令和5年7月より議論を重ねています。

CHECK

これまで開催の審議会内容等については、町のホームページからご確認いただけます！



## 三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針

三芳町では、「多様な人間関係を育むため、適正な学級集団の規模であること」「一定の教職員数が確保でき、経験年齢や専門性等、バランスのとれた教員集団であること」「中学校は全ての教科で専門の免許を有する教員数が確保できる規模であること」などの教育的観点と、小中学校適正規模適正配置検討委員会が実施したアンケート結果に基づき、下記の規模と配置を学校の適正基準として定めています。

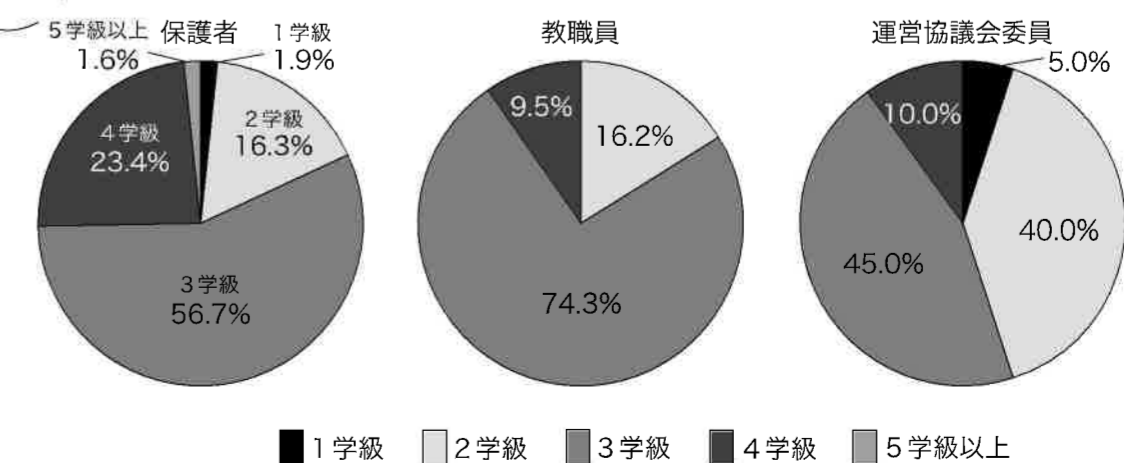
### 適正規模

- ①小学校・・・多様な考え方に触れるとともに、新たな人間関係を築くため、クラス替えが可能である1学年2学級以上
- ②中学校・・・小学校と同様にクラス替えが可能であるとともに、全ての教科で専門の教員数を確保できる、全学年で12学級以上

### 適正配置

- ①小学校・・・おおむね3km程度
  - ②中学校・・・おおむね4km程度
- ※上記の距離を超過する場合は、安全面に配慮した通学方法について検討する。

### 参考 最も適切だと考える「1学年あたりの通常学級数」(小学校)



＞ その他詳細やアンケート結果については、「三芳町立小中学校適正規模適正配置報告書」をご覧ください。

## 学校の再編は必要なの？

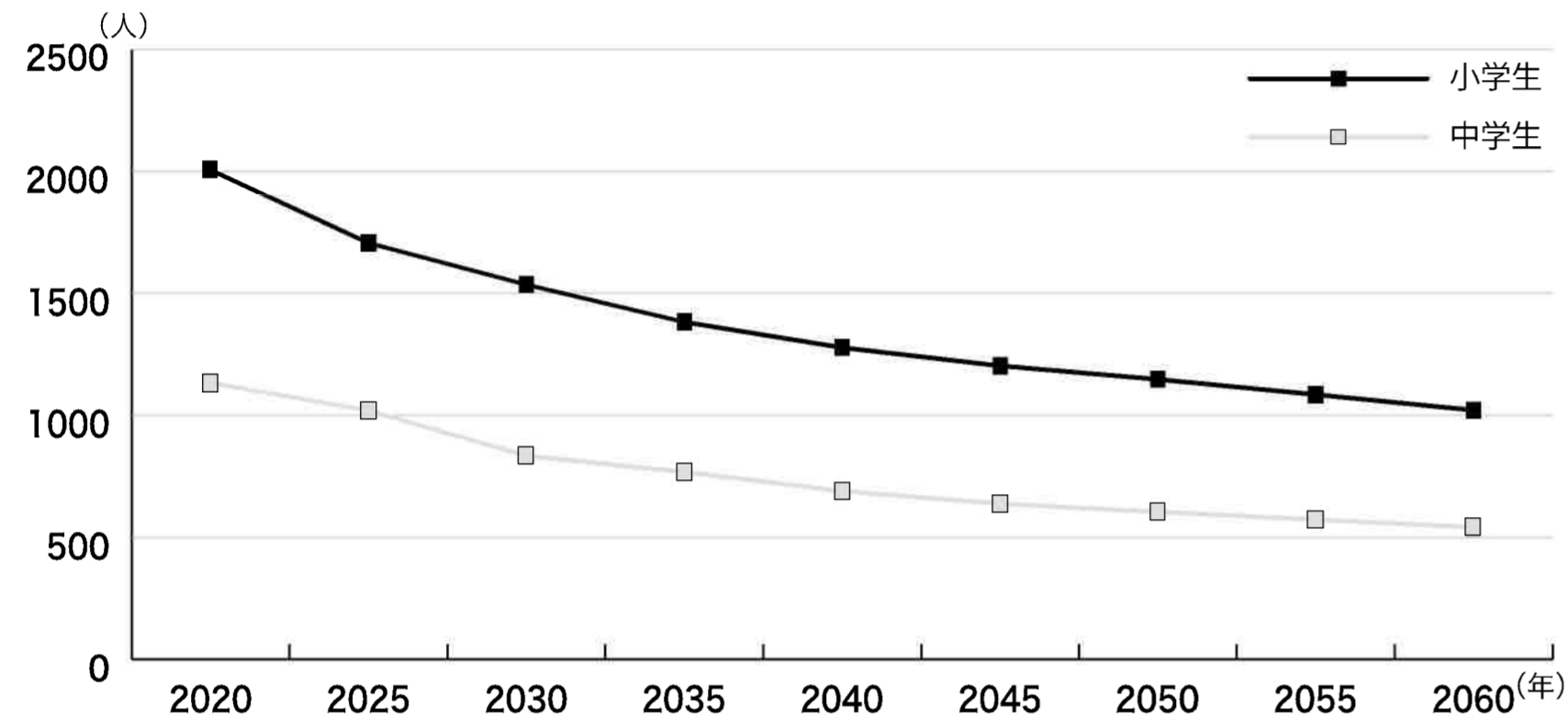
+++

教育委員会では、三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針に示した教育的な観点から、一定の学校規模が必要であると考えています。また、現在の学校は、1970年代の人口急増期に設置されており、建設から50年を経過する校舎が半数となっています。

これらの状況を踏まえると、再編についての検討が必要な時期にきていると言えます。

## 人口推移と学校の現状

三芳町における小中学生の人口推計は下記の通りです。(2019年の人口を基準とし、コーホート要因法を用いて作成)



「三芳町立小中学校適正規模適正配置基本方針」に該当する竹間沢小学校、上富小学校及び近隣校の、今後6年間のクラス数推移は下記の通りです。 ※ ( ) 内は児童数  
※令和6年5月10日時点

### 竹間沢小学校

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1年	1	2	1	1	1	1(17人)
2年	1	1	2	1	1	1(22人)
3年	1	1	1	2	1	1(27人)
4年	2	1	1	1	2	1(29人)
5年	1	2	1	1	1	2(37人)
6年	1(36人)	1(25人)	2(37人)	1(33人)	1(32人)	1(28人)
全校児童数	191人	192人	196人	186人	175人	160人

### 唐沢小学校

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1年	2	2	2	2	2	2(38人)
2年	2	2	2	2	2	2(44人)
3年	2	2	2	2	2	2(44人)
4年	2	2	2	2	2	2(46人)
5年	2	2	2	2	2	2(49人)
6年	2(63人)	2(73人)	2(67人)	2(62人)	2(61人)	2(52人)
全校児童数	378人	364人	337人	314人	296人	273人

### 上富小学校

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1年	1	1	1	1	1	1(5人)
2年	1	1	1	1	1	1(15人)
3年	1	1	1	1	1	1(15人)
4年	1	1	1	1	1	1(12人)
5年	1	1	1	1	1	1(11人)
6年	1(17人)	1(9人)	1(19人)	1(21人)	1(14人)	1(17人)
全校児童数	97人	91人	94人	90人	84人	75人

### 三芳小学校

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1年	2	2	1	2	2	1(25人)
2年	2	2	2	1	2	2(40人)
3年	2	2	2	2	1	2(40人)
4年	3	2	2	2	2	1(31人)
5年	2	3	2	2	2	2(45人)
6年	3(85人)	2(70人)	3(76人)	2(69人)	2(58人)	2(51人)
全校児童数	409人	369人	330人	294人	265人	232人

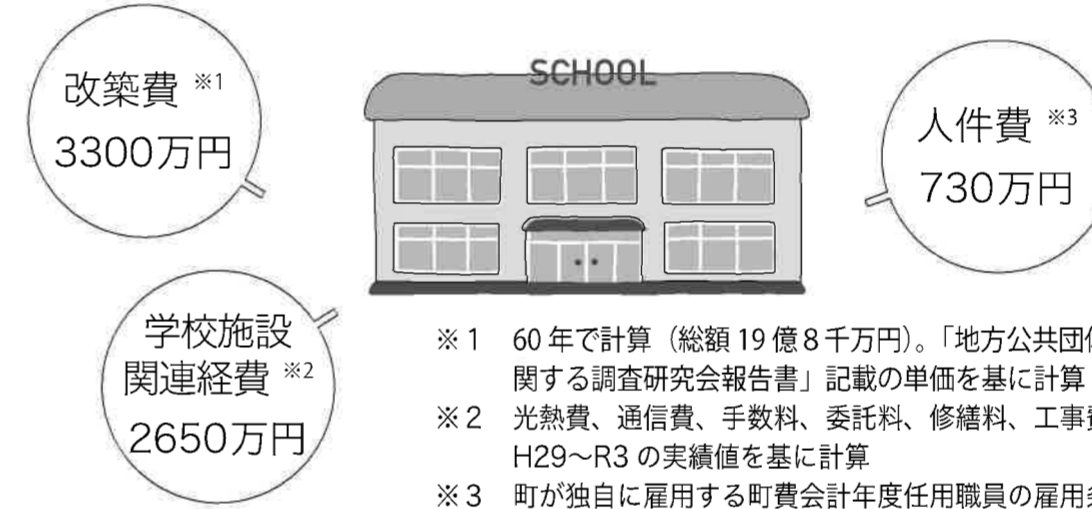
## 学校施設の現状

三芳町の学校施設は、大半が1970年代に建設されています。この時期は、三芳町の人口が首都圏のベッドタウンとして爆発的に増加した時期でもあります。また、第2次ベビーブームと言われる時期であり、昭和48(1973)年の日本の出生数は約209万人となり、令和4(2022)年の約78万人と比較すると2.6倍もの差があります。

「三芳町公共施設マネジメント基本計画」では、校舎等の耐用年数の目安を60年と設定しており、改築についての検討を要する時期となってきています。

学校名	児童生徒数(人)			延床面積(m <sup>2</sup> )	建設年
	建設時	R5	R11		
三芳小学校	615	465	232	6,570.64	S44(1969)
藤久保小学校	576	720	646	8,124.66	S46(1971)
上富小学校	195	88	75	3,574.05	S47(1972)
唐沢小学校	740	404	273	6,269.38	S50(1975)
竹間沢小学校	535	199	160	5,435.67	S56(1981)
三芳中学校	514	354	265	5,858.14	S48(1973)
三芳東中学校	527	372	297	7,119.10	S52(1977)
藤久保中学校	602	293	383	6,490.53	S59(1984)

学校の維持にかかるコストの試算結果は下記の通りです。(6,000m<sup>2</sup>規模の小学校1年あたりで試算)



※1 60年で計算(総額19億8千万円)。「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」記載の単価を基に計算  
※2 光熱費、通信費、手数料、委託料、修繕料、工事費、リース料のH29~R3の実績値を基に計算  
※3 町が独自に雇用する町費会計年度任用職員の雇用条件を基に計算

## これからの三芳教育

三芳町では、現在策定されている町の最上位計画「三芳町総合計画(令和6年度~令和13年度)」から、教育に関する政策・施策をまとめた「三芳町教育大綱(令和6年度~令和9年度)」を策定し、学校におけるこれからの教育の方向性についても示しています。

(以下、教育大綱等から一部抜粋)

教育大綱 基本理念

### 誰もが幸せに生きる夢の実現に向けて

#### 基本方針1：未来を切り拓く力の育成(学校教育)

教育行政重点施策

#### 主体的に学び続ける人材の育成

社会を取り巻く環境は大きな変化の中にあり、多様な価値観を持つ人々と共創しながら新たな価値観を創造する力を育むことが求められます。子どもが自ら課題を見つけ解決していくとともに、協働的な学びを通して主体的に向かう力を育成するために、各教科や総合的な学習の時間等において、「探究的な学習」を中心とした授業を充実します。その際、様々な魅力ある大人との出会いを通じた学習活動を展開したり、課題解決の際にICTを効果的に活用したりし、将来の夢や希望を描くことができる子どもを育成するとともに、新しい時代に求められる資質・能力を養います。

## 竹間沢小学校に係る調査事項等について

### 1 通学に係る事項

---

#### 1.1 竹間沢小学校区児童が唐沢小学校に通う場合の通学距離

令和6年度4月1日在籍児童住所を元に算定

- ・ 3 km 以上となる児童数・・・0人
  - ・ 2 km 以上となる児童数・・・2人
  - ・ 1.5 km 以上となる児童数・・・25人
- ※全て竹間沢小学校より南東に居住する者

### 2 意見聴取

---

#### 2.1 意見聴取の実施と内容について

- ・ 実施するか否か
- ・ 実施する場合、上富小学校保護者等に実施した場合と同内容・同条件で良いか